



1 中杉通り
杉並区役所から北に向かってケヤキ並木が続きます。夏の木陰や秋の紅葉は、阿佐谷を象徴する光景となっています。



2 世尊院
1429年頃創立の不動明王を本尊とする寺で、現在の本堂は1935年に建立。明治・大正時代には杉並村の村役場が置かれていました。



阿佐谷神明宮
旧阿佐ヶ谷村の鎮守社。秋の例大祭には豊年万作を祝い、江戸時代末期から伝わる「阿佐ヶ谷囃子」が神楽殿で奉納され大変賑わいます。



阿佐谷けやき公園
既存のけやきを残してリニューアルした地上部と電車の往来や東京スカイツリーを眺めることのできる屋上部がある公園です。



Aさんの庭
Aさんは庭園を訪れる皆さんのことです。「トロロの家」として親しまれていた建物は火災で失われましたが、焼け焦げたクマギは元気です。



阿佐谷庚申堂
1700年頃の路のある阿弥陀如来像・地藏菩薩像・庚申塔が祀られています。石仏・石塔はまだ区内の路傍にありますので探してみましょう。



松山通り
旧鎌倉街道で、法仙庵より南は商和会商店街、北は松山通り商店街。年3〜4回開催される「ゆうやけ市」はフリーマーケットで賑わいます。



水路跡遊歩道
阿佐谷・高円寺に多くあった水路は全て暗渠の遊歩道となっていますが、車止めに描かれた金太郎の目印も今は少なくなっていました。



つり堀(寿々木園)
1924年の創業で鯉池と金魚池があり、多くの釣り人に親しまれています。水路跡に隣接した池は、かつては阿佐ヶ谷田園の一部でした。



天保の新堀用水路跡
天保11(1840)年に建設された善福寺川西田端橋と桃園川を結ぶ灌漑用水路の跡で、現在は暗渠化され馬橋児童遊園や遊歩道になっています。



馬橋稲荷神社
旧馬橋村の鎮守で鎌倉末期の創建と言われ、都内最大の大鈴。区内一・二の大神輿、龍の刻まれた石造大鳥居(東京三鳥居)などがあります。



銭湯(なみのの)の煙突
白く塗られたコンクリート製の煙突は、端午の節句頃にはこいのぼりが泳ぎます。クリスマスにはサンタクロースが登るかも。

まちを楽しく歩くために

交通ルールを守って安全に
気を付けて歩きましょう。

車の多い道を渡るときは、遠回りになっても
信号や横断歩道のある交差点で渡りましょう。

立入り禁止の場所や私有地・個人宅には、
入らないようにしましょう。



● 施設一覧 休館日及び受付時間は、各施設へお問合せください

1	杉並区役所	〒166-8570 阿佐谷南1-15-1 03-3312-2111 (代表)
2	高円寺保健センター	〒166-0003 高円寺南3-24-15 03-3311-0116
3	杉並福祉事務所 高円寺事務所	〒166-0003 高円寺南2-24-18 03-5306-2611
4	阿佐谷図書館	〒166-0001 阿佐谷北3-36-14 03-5373-1811
5	高円寺図書館	〒166-0003 高円寺南2-40-24 03-3316-2421
6	高円寺体育館	〒166-0003 高円寺南2-36-31 03-3312-0313
7	座・高円寺	〒166-0002 高円寺北2-1-2 03-3223-7500 (10時〜18時)
8	阿佐谷地域区民センター	〒166-0001 阿佐谷北1-1-1 03-5356-9501
9	IMAGINUS(イマジナス) 未来をつくる杉並サイエンスラボ	〒166-0002 高円寺北2-14-13 03-6383-0290
10	馬橋公園運動広場	〒166-0002 高円寺北4-35-5 03-3336-1105
11	高円寺北区民集会所	〒166-0002 高円寺北3-25-9 03-3330-7255
12	コミュニティふらっと阿佐谷	〒166-0001 阿佐谷北2-18-17 03-5364-9360
13	コミュニティふらっと馬橋	〒166-0003 高円寺南3-29-5 03-3315-1249
14	コミュニティふらっと高円寺南	〒166-0002 高円寺南2-40-24 03-3316-2421

杉並区役所 都市整備部市街地整備課
〒166-8570 阿佐谷南1丁目15番1号
☎ 03-3312-2111 (代表)

URL <https://www.city.suginami.tokyo.jp/>
© SUGINAMI CITY

2025.11 改版

知ろう歩こうみどりの都市すぎなみ



みどり豊かな住宅街・お寺・神社・
遺跡・街道・賑やかな商店街など
を探索して、阿佐谷・高円寺
の魅力を再発見しましょう！

阿佐谷・高円寺の豆知識

土地のなりたち

杉並区は武蔵野台地の東部末端近くにありますが、阿佐谷・高円寺地域では中央を天沼弁天池に水源をもつ桃園川が西から東に流れ低湿地を形成していました。かつては多くの水路が流れていましたが、桃園川を含めて全ての水路は暗渠化され、今は車止めにより守られた遊歩道・公園・緑道となっています。皆さんも旧水路を探しながら歩いてみて、まちの歴史に思いを馳せてみませんか。



阿佐ヶ谷村地図 明治24(1891)年

地域の歴史

江戸時代には阿佐ヶ谷村・高円寺村と呼ばれていましたが、明治22(1889)年に天沼村、馬橋村とともに杉並村にまとめられ、さらに昭和7(1932)年に現在の杉並区が誕生しました。大正11(1922)年に現中央線に阿佐ヶ谷・高円寺駅が開設され、翌年に起きた関東大震災の影響もあり、住宅地として急速に発展しました。

昭和初年から井伏鱒二・横光利一・三好達治などの多くの文士が集まり、阿佐ヶ谷文士とも呼ばれました。第二次大戦後は、阿佐谷パールセンターで七夕祭、高円寺駅周辺で高円寺阿波おどりが開催されるようになり、現在では全国的に知られています。また最近では、阿佐谷ジャズストリートや高円寺フェスなど音楽や文化的なイベントも盛んで、賑やかに商店街を盛り上げています。



高円寺フェス

みどり豊かな
住まいのみやこ

すぎなみ景観ある街マップ 阿佐谷・高円寺編



中面の地図の番号と照らし
合わせてね。



高円寺
三代將軍徳川家光公が鷹狩の折にしばしば立ち寄り、村名を小沢村から高円寺村に改名させたと言われ、高円寺の地名の由来となった寺です。



高円寺水川神社
高円寺と同時代に創建された旧高円寺村小名原の鎮守。境内にある末社の一つ、気象神社は気象の神様として全国的にも珍しい神社です。



高円寺純情商店街・庚申通り商店街
高円寺純情商店街は、ねじめ正一氏の同名の直木賞小説に因んだ通称です。庚申塔のある庚申通り商店街とともに、大変賑やかな商店街です。



高円寺バール・高円寺ルック
今や全国的に有名になった高円寺阿波おどりは、1957年バール商店街の高円寺ばか踊りから始まりました。ルック商店街を含め800mの商店街です。



高円寺の寺町
明治末期から大正にかけて7つの寺院が移転してきました。江戸時代の建物や境内林もあり、静かな寺町となっています。



妙法寺旧参道入口燈籠
高さ5.65mの青銅製の燈籠は、1889年の中野駅の開業により新たに参道となった入口の標識として、信者の寄進によって造立されました。



青梅街道
江戸城改修の石灰を青梅・成木から運ぶため1606年から整備され、その後江戸と近郊を結ぶ流通路として栄え、現在は杉並の大動脈です。



堀之内新道・ニコニコロード
中野駅から妙法寺門前までの2kmを馬糞商間口兵蔵が私財を投じて整備したもので、青梅街道から北はニコニコロード商店街となっています。



座・高円寺
杉並芸術会館の愛称で、舞台芸術の創造と地域文化活動の拠点として2009年に開設。阿波おどりホールもあり区民に親しまれています。



高円寺駅ホームからの富士山
ホーム西端(立川寄り)から富士山が見えます。東端からは新宿の超高層ビル街がビルの谷間に見えます。阿佐ヶ谷駅からも見えます。



馬橋公園



屋敷林



蓮華寺



桃園川緑道



3つのモデルコースを用意しました。
このマップを参考にご自分の散策ルートをつくってみましょう。

立入禁止にな
っている所には
入らないでね。



阿佐谷一周コース

阿佐ヶ谷駅→①中杉通り→②世尊院→③阿佐谷神明宮→④阿佐谷けやき公園→⑤Aさんの庭→⑥蓮華寺→⑦阿佐谷庚申堂→⑧松山通り→⑨水路跡遊歩道→⑩つり堀→阿佐ヶ谷駅

(4.2km 1時間25分)

阿佐谷・高円寺一周コース

阿佐ヶ谷駅→⑪天保の新堀用水路跡→⑫馬橋稲荷神社→⑬桃園川緑道→⑭高円寺→⑮高円寺氷川神社→高円寺駅→⑯高円寺純情商店街・庚申通り商店街→⑰銭湯の煙突→⑱馬橋公園→⑲屋敷林→阿佐ヶ谷駅 (5.9km 2時間)

高円寺一周コース

高円寺駅→⑳高円寺パル・ルク→㉑高円寺の寺町→㉒妙法寺旧参道入口燈籠→㉓青梅街道→㉔堀之内新道・ニコニコロード→㉕中央線跨線橋→㉖座・高円寺→㉗高円寺駅ホームからの富士山

(4.6km 1時間30分)

この地図は、国土院発行の数値地図(国土基本情報)を加工して作成しました

取材・編集:NPO法人すぎなみ学びの楽園
東京カートグラフィック株式会社



凡例

- モデルコース
- 街路樹
- 文化財・記念碑・文化財案内板など
- 保育園・幼稚園・子供園など
- 駐輪場
- トイレ
- バリアフリートイレ
- まちなか木製ベンチ
- バス停
- 区界線



中央線跨線橋から見るあずさ号

新井二丁目

中野区役所

中野四丁目

中野三丁目

中央五丁目

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三

和田三